

(3) 第3期環境計画について

- 第3期環境計画では、四日市公害のイメージの転換、環境と経済活動のバランスがとれた発展、まちづくり全体との連動、自然循環の確保といった視点を取り入れ、環境先進都市の実現に向けて各分野で取組を進めてきました。また、環境に関する個別計画を包含し、環境政策を一体的に推進してきました。
- 具体的には、大気・河川の環境基準の達成など、健康で安全な生活環境の確保に努めたことや、一般廃棄物を取り巻く社会情勢の変化に対応しつつ、循環型社会の構築を目指すため、機能が低下した北部清掃工場に代わり、「四日市市クリーンセンター」を稼働しました。また、四日市公害の歴史を忘れることなく、その教訓を次世代に伝えるとともに、未来に向けた本市の環境改善への取組を広く国内外へ発信するため、本格的な公害学習・環境学習の拠点として「四日市公害と環境未来館」を開館しました。

計画期間	2011（H23）年度～2020（R2）年度
目指す姿	環境先進都市「環境を誇りにする 持続可能なまち・四日市」

社会像等	実施した主な施策
低炭素社会	温室効果ガスの削減 温室効果ガスの吸収 温暖化に関連する環境対策
循環型社会	3Rの推進 安全で適切な廃棄物処理システムの構築（四日市市クリーンセンターの稼働） 市民・事業者・行政の役割分担と協働による取組の推進
自然共生社会	生物多様性の確保 自然と調和したまちの形成
快適生活環境社会	健康で安全な生活環境の確保（大気・河川の環境基準の達成など） 公害健康被害対策の継続
環境共創社会	創造的環境活動の推進 環境に関する情報発信と教育・学習の充実（四日市公害と環境未来館の整備・開館など）
四日市市地球温暖化対策実行計画 （四日市市域施策編）	省エネルギー性能の高い設備・機器等の導入及び普及啓発 再生可能エネルギー発電設備の導入及び普及啓発 都市緑化の推進 エコドライブの普及推進 公共交通機関の整備やサービス、利便性の向上を通じた公共交通機関の利用促進 交通流対策（徒歩・自転車利用環境の改善、公共交通機関の効率化など） 廃棄物焼却エネルギーの回収・発電（四日市市クリーンセンターにおける熱エネルギー回収など） 下水汚泥焼却施設における燃焼の高度化等のため的高温焼却設備や汚泥固形燃料技術の導入 など
四日市市地球温暖化対策実行計画 （四日市市役所編）	電気使用量の削減 灯油・重油使用量の削減 ガス使用量の削減 自動車等の効率的な利用によるガソリン・軽油使用量の削減 など
四日市市 スマートシティ構想	創エネ：新エネルギー等の積極的な導入 蓄エネ：蓄電池等の普及 省エネ：エネルギーマネジメントシステムの活用
四日市市環境教育等 推進行動計画	学校、地域、社会等幅広い場における環境教育 職場における環境保全活動、環境保全の意欲の増進及び環境教育並びに協働取組 拠点機能の充実 など

- 第3期環境計画の各社会像、包含する地球温暖化対策実行計画の市域施策編及び市役所編で設定している指標について、現状値及び目標値に対する達成状況を下表に示します。
- 各社会像において複数の指標を設定しており、既に達成済みのもの、目標値に対して進展しているもの、目標値に対して停滞しているものなどがあります。快適生活環境社会における環境基準の達成状況では、多くの指標で達成済みとなっています。一方で、四日市公害と環境未来館来館者数、エコパートナー登録団体数など、市民や事業者等の行動に係る指標では停滞しているものもあり、これらについては、社会情勢を鑑みつつ、第4期環境計画に基づいて継続して努力していく必要があります。

社会像	指標【単位】	基準値 2010 (H22)	現状値 2019 (R1)	目標値 2020 (R2)	達成状況
低炭素社会	家庭用太陽光発電契約世帯数【世帯】	2,123	11,247	25,000	○
	エコアクション 21 認定・登録事業者数【事業所】	7	5	20	△
	エコドライブ参加者数【人/年】	20	-※1	80	-
循環型社会	市民1人1日当たりごみ排出量(家庭ごみ)【g/人・日】	658.0	653.0	640.5	○
	ごみ資源化率【%】	25.3	-※2	-※2	-
	ごみ減量リサイクル推進店舗数(市内)【店】	63	60	100	△
	エコステーション設置数【箇所】	1	2	4	○
自然共生社会	市民緑地指定の箇所数【箇所】	6	8	10	○
	市民菜園の箇所数【菜園】	21	20	30	△
	三重県自然環境保全条例に基づく里地里山保全活動計画の認定団体数【団体】	5	1	10	△
	市民1人当たり公園の供用面積【m ² /人】	9.71	10.18	12.0	○
	自然観察会参加者数【人/年】	363	773	400	◎
快適生活環境社会	大気環境基準達成地点率(一般局)【地点】	6/6(2009)	6/6	6/6	◎
	大気環境基準達成地点率(自排局)【地点】	2/3(2009)	4/4	3/3	◎
	河川環境基準達成地点率【地点】	7/7(2009)	7/7	7/7	◎
	海域環境基準達成地点率【地点】	3/4(2009)	4/4	4/4	◎
	公害苦情件数【件/年】	199	176	220	◎
	騒音環境基準達成地点率【地点】	5/7	6/8	8/8	○
	有害大気汚染物質濃度環境基準達成地点率【地点】	3/3(2009)	3/3	3/3	◎
	環境大気ダイオキシン類環境基準達成地点率【地点】	2/2(2009)	2/2	2/2	◎
	不法投棄処理量【トン/年】	149	26	100	◎
環境共創社会	四日市公害と環境未来館来館者数【人/年】	56,454(2016)	44,816	55,000	△
	環境学習講座参加者数【人/年】	7,440(2016)	7,953	9,000	○
	エコパートナー登録団体数【団体】	60(2016)	53	100	△

指標	基準値 2013 (H25)	現状値	目標値 2030 (R12)	達成状況
市域からの温室効果ガス排出量の削減 (2030(R12)年度に2013(H25)年度比16%削減)【万トン-CO ₂ 】	1,821.0	1,695.8 (2017(H29))	1,543.3	○
市施設からの温室効果ガス排出量の削減 (2030(R12)年度に2013(H25)年度比20%削減)【トン-CO ₂ 】	66,441	70,874 (2019(R1))	53,090	△

＜達成状況＞ ◎：達成済み ○：目標値に対して進展 △：目標値に対して停滞

※1 エコドライブ実技講習会のニーズが減少してきたため、2017(H29)年度をもって事業を廃止した。

※2 2016(H28)年4月の四日市市クリーンセンター稼働により、プラスチック類はサーマルリサイクルとなるため、資源化率の目標値は設定していない。